



Facebook

LINE

藤村まさたか NEWS

藤村まさたかの2022年春の府議会レポート



府議会一般質問で「新型コロナ対策」や「若者・女性活躍」などで論戦



「大阪版CDC（感染症対策センター）」を設置し、感染症に強い都市づくりを

- ・令和2年10月の代表質問で、新型コロナや今後の新たな感染症にも対応すべく、感染症対策の司令塔機能を果たす「大阪版CDC」の設置を提案。この提案を受け、昨年4月には公立大学法人大阪に「大阪国際感染症研究センター」が創設されるなど、“半歩”前進することができました。
- ・しかし、新型コロナ感染「第6波」では、大阪府の死者数が全国的に突出し、2番目の東京都の約1.6倍となっていますが、未だに原因の究明や今後の感染対策は不十分で、大阪こそ「場当たりの対応」ではなく「科学的知見」に基づいた調査分析・対策の強化が不可欠です。
- ・今回の一般質問では「大阪国際感染症研究センター」や大阪大学に新設された「感染症総合教育研究拠点(CiDER)」といった大学や研究機関、民間企業等との連携によって「大阪版CDC」の機能構築を再度、吉村知事に求めました。
- ・吉村知事は「大阪健康安全基盤研究所を主軸に、これら拠点機関との連携体制を構築し、『感染症に強い都市づくり』をめざしていく」と表明。早期実現をめざします。

若者の「奨学金返還」負担軽減策を

- ・公明党の若者向け政策アンケート“ボイスアクション”でも「奨学金返還の負担が大きい」との切実な声が多く寄せられています。
- ・今回の一般質問で、府独自の奨学金返還支援制度の創設を求めましたが、残念ながら吉村知事は制度創設には消極的です。
- ・府は日本学生支援機構が昨年度から実施の「奨学金代理返還制度（＝企業が従業員に代わって返還できる仕組み）」を府内企業が導入できるように積極的に働きかけると約しましたが、さらなる支援を求めてまいります。



大阪・平野の活性化に全力！ 八尾空港西側跡地を視察

八尾南駅の北側にある広大な国有地を活用したまちづくりの民間提案の募集がスタート。国・府・市のネットワーク力を生かし取り組んでまいります。



八尾空港西側跡地で担当者（右端）から説明を受ける石川氏（前列左から3人目）ら＝28日 大阪・八尾市

国有地を活用し再開発

石川氏ら 八尾空港西側跡地を視察

公明党の石川ひろたか参院議員（参院選予定候補Ⅱ 大阪選挙区）は28日、大阪府八尾市を訪れ、再開発予定の八尾空港西側跡地（八尾市と大阪市の一部）を視察した。これには、大山明彦、藤村昌隆の両府議と永井広幸・大阪市議、八尾市議会公明党が同行した。国が管理する同跡地は約9秒。駅前で幹線道路から

近く、利便性の高い土地。国や地元自治体から成る「八尾空港西側跡地検討会議」が今春から民間の提案を募り、都市計画を策定する。これを受け、国は土地を売却する予定で、担当者は「住宅や生活サービスの複合拠点になれば」と話した。

石川氏は「円滑に整備が進むよう、国・府・市の議員のネットワークを生かして後押しする」と語った。

「プレコンセプションケア」の普及を

- ・不妊治療の保険適用が実現し、今後、不妊に悩むカップルの相談支援や不妊治療前からのサポートの充実が重要です。
- ・一般質問では、将来の妊娠を考える女性やカップルが、生活習慣のチェックや健康管理をサポートする「プレ（＝前）コンセプション（＝受胎）ケア」の重要性を訴えました。
- ・国立成育医療センターでは「プレコンセプションケアセンター」が設立され、東京都でも今年度から事業が始まります。
- ・プレコンセプションケアが大阪でも普及するよう取り組んでまいります。

R4.3.29公明2面